

2 登録者数

	児 童	一 般	計	登録率	登録者1人当りの貸出冊数
中央図書館	3,573人	4,715人	8,288人	16.0%	12.6冊
わかぎり分館	837	525	1,362	2.6	17.3
わかたけ分館	625	537	1,162	2.2	19.6
計	5,035	5,777	10,812	20.1	16.5
昭和59年度	5,224	5,630	10,854	21.1	33.4

$$\text{登録率(\%)} = \frac{\text{登録者数}}{\text{人口}} \times 100$$

$$\text{登録者1人当りの貸出冊数} = \frac{\text{貸出冊数}}{\text{登録者数}}$$

(注) 児童は0才～中学生までとし、それ以上は一般とした。

人口は、昭和60年9月1日現在51,712人

3 貸出冊数

	開館日数	児 童 書	一 般 書	計	1日平均
中央図書館	123日	44,811冊	59,989冊	104,800冊	853冊
わかぎり分館	123	13,418	10,092	23,510	192
わかたけ分館	123	12,159	10,623	22,782	186
団体貸出	—	10,557	0	10,557	—
計	延369	80,945	80,704	161,649	1,231
昭和59年度	延742	171,509	191,505	363,014	1,384

人口1人当りの貸出冊数

$$\frac{\text{貸出冊数}}{\text{人口}} = \frac{161,649}{51,712} = 3.2 \text{冊}$$

4 蔵書冊数

館 名	資 料 名	昭和59年度蔵書冊数
中央図書館	児 童 書 (団体貸出用)	44,543 (15,221)
	一 般 書 (点字図書)	87,119 (82)
	計	131,662
わかぎり分館	児 童 書	12,927
	一 般 書	20,502
	計	33,429
わかたけ分館	児 童 書	12,285
	一 般 書	20,886
	計	33,171
合 計	児 童 書	69,755
	一 般 書	128,507
	計	198,262

・人口1人当り8月末日までの購入冊数

・人口1人当り蔵書冊数

・蔵書回転率 $\frac{\text{貸出冊数}}{\text{蔵書冊数}}$

4 蔵書冊数

館 名	資 料 名	昭和59年度 蔵 書 数	昭和60年度 8月末日までの 購 入 数	昭和60年度 8月末日蔵書数
中央図書館	児 童 書 (団体貸出用)	44,543冊 (15,221)	786冊 (601)	45,329冊 (15,822)
	一 般 書 (点字図書)	87,119 (82)	1,022	88,141 (82)
	計	131,662	1,808	133,470
わかぎり分館	児 童 書	12,927	260	13,187
	一 般 書	20,502	335	20,887
	計	33,429	595	34,024
わかたけ分館	児 童 書	12,285	251	12,536
	一 般 書	20,886	304	21,190
	計	33,171	555	33,726
合 計	児 童 書	69,755	1,297	71,052
	一 般 書	128,507	1,661	130,168
	計	198,262	2,958	201,220

・人口1人当り8月末日までの購入冊数 0.06冊

・人口1人当り蔵書冊数 3.89冊

・蔵書回転率 $\frac{\text{貸出冊数}}{\text{蔵書数}}$ 1.80冊

5 その他利用件数

種 別	件 数	備 考
視 察 件 数	2 2 件	中央図書館
レコード	利用数	7 3 6 枚
	貸出数	4 0 枚 中学（学芸会） 公民館（レコードコンサート）
カセットテープ		中央図書館
	利用数	8 2 本
	貸出数	1,3 3 3 本
リクエスト件数		
中央図書館	7 0 6 件	8 4 5 冊 1日平均 5.7 件
わかぎり分館	2 1 6 件	3 0 1 冊 1日平均 2.4 件
わかたけ分館	4 3 3 件	5 2 2 冊 1日平均 3.5 件
計	1,3 5 5 件	1,6 6 8 冊
レファレンス 相談件数	3 0 5 件	中央図書館 1日平均 2.5 件
コピーサービス	7 3 5 件	中央図書館
	4,4 8 3 枚	8 9,6 6 0 円

6 市町村の実績(昭和59年度)

読書利用の状況

市町村の部	図書館の 数 (B M)	蔵書冊数(児童書)	個人貸出冊数(児童書) (団体貸出しを除く)	登録者 一人当 り貸出 冊数	人口1人当り	
					蔵書数	貸出 冊数
秋 川	4	74,858(38,318)	154,168(83,829)	10.7	1.66	3.41
昭 島	3	200,063(84,861)	486,204(———)	19.4	2.06	5.01
稻 城	4	154,703(60,409)	343,663(177,308)	29.1	3.06	6.81
青 梅	7	167,366(75,921)	355,506(226,736)	26.2	1.54	3.27
清 瀬	4	176,560(52,382)	333,632(———)	12.7	2.76	5.21
国 立	8	168,840(47,310)	394,276(———)	12.4	2.62	6.11
小 金 井	4	129,372(47,437)	285,487(129,433)	17.1	1.25	2.76
国 分 寺	4	273,407(82,783)	553,649(214,567)	17.1	2.89	5.85
小 平	8	455,450(172,462)	1,063,582(410,850)	18.3	2.90	6.77
狛 江	6	164,421(56,769)	295,638(110,297)	10.4	2.26	4.06
立 川	6(1)	324,313(140,154)	891,630(470,817)	18.6	2.24	6.17
田 無	3	145,536(40,390)	319,801(118,891)	20.6	2.06	4.53
多 摩	5(1)	396,088(———)	817,814(———)	14.2	3.34	6.90
調 布	11	340,982(96,960)	696,787(337,965)	16.7	1.81	3.69
八 王 子	1(3)	246,072(98,480)	341,370(183,213)	8.5	0.59	0.81
東久留米	5(1)	202,856(75,233)	632,959(315,385)	15.4	1.85	5.78
東 村 山	3(2)	337,466(139,734)	656,702(317,198)	20.6	2.76	5.37
東 大 和	1(1)	145,591(53,569)	466,605(231,193)	20.9	2.09	6.69
日 野	8(2)	459,868(129,927)	978,827(348,724)	21.5	3.01	6.40
府 中	11(1)	554,589(177,763)	1,012,986(468,032)	11.7	2.77	5.06
福 生	3	198,262(69,755)	354,839(163,334)	32.7	3.86	7.06
保 谷	6	165,394(71,678)	328,436(144,300)	16.5	1.82	3.62
町 田	5(3)	480,917(184,717)	1,852,397(926,007)	19.2	1.52	5.87
三 鷹	3(1)	269,561(126,879)	529,733(256,949)	19.2	1.63	3.21
武 蔵 野	2	240,442(83,649)	410,328(186,336)	15.4	1.74	2.96
武蔵村山	5	128,794(55,016)	190,510(105,898)	17.7	2.14	3.16
26市計	130館 (16)台	6,601,771冊 (2,262,556)	14,747,529冊 (5,927,262)	16.7冊	2.01冊	4.50冊
五 日 市	2	104,745(37,788)	170,367(101,855)	27.5	5.04	8.20
奥 多 摩	2	21,643(4,069)	10,115(5,937)	10.6	2.33	1.09
羽 村	4	122,600(46,912)	264,196(126,917)	27.4	2.66	5.72
日 の 出	1(1)	21,658(17,933)	33,708(33,500)	24.8	1.38	2.19
瑞 穂	1	36,665(12,312)	52,999(30,215)	18.3	1.38	1.99
5 町 計	10館 (1)台	307,311冊 (119,014)	531,385冊 (298,424)	25.3冊	2.59冊	4.48冊

全議 第 9 号
昭和 60 年 9 月 12 日

各市議会議長殿

全国市議会議長会
会長 千葉正
(盛岡市議会議長)

国保財政の危機打開に関する要望運動方について

退職者医療制度の実施に伴う国民健康保険財政悪化の重大な危機に対処するため、全国市議会議長会としては5月29日の第61回定期総会で国保財政の健全化を満場一致で決議し、また各市議会におかれましても6月定例会等で同趣旨の決議をされ、関係方面に対し強力な運動を続けてきたところであります。

これを受け厚生省は、59・60年度の不足分2,080億円について補正予算措置を講じようとしておりますが、諸般の情勢から予断が許されず、国保財政危機突破対策本部は緊急に幹事会議を開催し、再度強力な運動を展開することとなりました。

つきましては、既に定例会で決議し、運動されているところもあると考えますが、9月の定例会をはじめ今後機会があれば別紙意見書(案)を参考に御決議いただき、地元国会議員をはじめ別紙関係方面に対し強力な運動をしていただくようお願い申し上げます。

国保財政の危機打開に関する意見書（案）

さきの医療保険制度の改革により退職者医療制度の創設をみたが、同時にその見合いにおいて療養給付費に対する国庫負担率が大幅に削減された。しかも退職者医療制度の加入者数等が政府見込と大きく乖離したことにより、制度改革によって保険税（料）の負担増を来たさないと政府の言明にもかかわらず大幅な負担増となることが明らかとなり国保財政は今や重大な危機に直面している。

加えて、老人保健制度による医療費拠出金の負担は年々国保に重く傾斜し、同制度の基本理念とする負担の公平化に相反する方向に進んでおり、これが国保財政を一層圧迫している現状である。

このまま放置すれば国保制度の存立さえ危惧される深刻な事態を招きつつあるので、国保制度の厳しい現状を十分認識され、つぎの事項をすみやかに実現されるよう強く要請する。

記

一、 国保に関する国庫負担率の削減の結果生じた財政上のマイナスについて、次のように措置すること。

（一） 昭和五十九年度分及び昭和六十年年度分については、本年度において国庫負担金をもって補填すること。

（二） 昭和六十一年度以降については、保険税（料）の負担増を招かないよう現行の国庫負担制度を見直すこと。

二、 老人保健法による医療費負担について、制度間の真の負担の公平を実現するため加入者按分率を百パーセントとすること。

昭和六十年〇月〇日

◎自由民主党

(住所 = 東京都千代田区永田町1-11-23、㊦100)

総裁	中曾根 康弘
副総裁	二階堂 進
幹事長	金波 丸
幹事代理	美智雄
副幹事長	美俊 樹一郎
総務会長	海宮 田
総務会長代理	澤尾 塚部
政調会長	藤三 渡 森
政調会長代理	恒 美
政調副会長	博 三秀 (社会部会担当)
“	秀 (地方行政部会担当)

◎大蔵省

(住所 = 東京都千代田区霞ヶ関3-1-1、㊦100)

大蔵大臣	竹中 下	登三郎
政務次官	江村 島	正三郎
“	山口 島	淳
事務次官	山吉 保中	光良 秀彦
主計局長	“	良博
“次官	“	義雄

◎厚生省

(住所 = 東京都千代田区霞ヶ関1-2-2、㊦100)

厚生大臣	増岡 博之夫
政務次官	高橋 辰
事務次官	吉村 村 仁健
官房長	下村 田 孝
保険局長	幸古 川 二郎
審議官 (医療保険担当)	仲黒 村 木 正貞
保健医療局長	“ 武 弘
老人保健部長	“

◎自治省

(住所 = 東京都千代田区霞ヶ関2-1-2、㊦100)

自治大臣	古屋 亨
政務次官	小澤 潔
事務次官	石原 信正
官房長	津田 雄
審議官 (財政担当)	持花 莞圭
財政局長	花 民三
調整室長	鶴岡 啓一

写

福総庶発第二千六百五十五号

昭和六十年十二月十日

福生市議会議長

森 田 治 男 殿

福生市長 田 村 匡 雄 印

追加議案の送付について

昭和六十年第四回福生市議会定例会に提案するため、次の議案を追加して送付します。

一 議案第九十六号 福生市議会の議員の昭和六十年十二月期期末手当の支給割合を定める条例

二 議案第九十七号 福生市の一般職の職員の昭和六十年十二月期期末手当の支給割合を定める条例

◎ 自由市員主

(主) = 東京市十六区又田町三丁目一丁目 (100)

東京市十六区又田町三丁目一丁目 (100)

東京市十六区又田町三丁目一丁目 (100)

◎ 自由市員主

(主) = 東京市十六区又田町三丁目一丁目 (100)

東京市十六区又田町三丁目一丁目 (100)

20.2.11

定例案

二 議案第六十号 福生市の一選挙の議員の昭和六十一年十二月臨時末年度の支分組合を

る案

一 議案第六十六号 福生市議会の議員の昭和六十一年十二月臨時末年度の支分組合を定

昭和六十一年第四回福生市議会定例会の議案として、次の議案を提出し、受けつけます。

福生市議会の定例案

森 田 尚 民 興

福生市議会議員

福生市長 田 村 五 郎

昭和六十一年十二月十日

議案第六十号 福生市議会議員

第四 回福生市議会 定 例

会会議録(第十四号)

昭和六十一年十二月十一日福生市議会議場に第四 回福生市議会定例会が開催された。
一 出席議員は次のとおりである。

一番	林 田 武 君	二番	左 原 博 君
三番	村 野 和 一郎 君	四番	石 川 泰 一 君
五番	赤 星 行 人 君	六番	齋 藤 巽 君
七番	七 番 君	八番	八 番 君
九番	上 野 重 勝 君	十番	木 村 徳 藏 君
十一番	原 敏 子 君	十二番	遠 藤 洋 一 君
十三番	小 野 沢 久 君	十四番	仲 村 清 信 君
十五番	加 藤 謹 之 助 君	十六番	高 水 惣 八 君
十七番	東 田 正 治 君	十八番	堀 川 寛 君

十九番	宮沢	良一	君
二十一番	森田	治男	君
二十三番	田村	市郎	君

二十番	指田	保雄	君
二十二番	村尾	栄次	君
二十四番			君

一 欠席議員は次のとおりである。

七番	井上	寅吉	君
八番	石川	保	君
二十四番	関	米吉	君

一 欠員は次のとおりである。

一 議会事務局職員は次のとおりである。

議事 局長	井上 久男 君
議事 係長	島田 幸治 君
臨事速 記事務 補佐員	川久保 友子 君

出席説明員は次のとおりである。

市 長	田村匡雄君	助役	古谷徳男君
収入役	高水永君	教育長	森田猛君
企画財政部長	内田和雄君	総務部長	浅見裕康君
市民部長	古谷正夫君	福祉部長	生子国利君
建設部長	森田進君	教育次長	須崎進君
監査委員	小野光朗君	選挙管理委員	篠崎寛君
事務局長		会事務局長	